

2023年度 7月
大学院デザイン工学研究科

建築学専攻 修士課程
総合2年コース
作品評価型

入学試験問題

[即日設計]

2022年7月2日(土)
13:30~18:30

<解答要領>

1. この問題用紙・敷地図のほかに、計算用紙(A4版)1枚、トレーシングペーパー(A2版)2枚を配付する。
2. トレーシングペーパーには2枚とも、受験番号を記入すること。
3. トレーシングペーパー2枚のうち、1枚は提出図面製作用、1枚はエスキース用とする。(エスキース用は用紙右上に、エスキース用と明記すること)
4. 筆記用具のほか定規・製図板・方眼紙・電卓・メンディングテープは使用可。
テンプレートは、正円・正方形は可、だ円や家具などは不可。
5. 問題、敷地図、トレーシングペーパー2枚を提出すること。

受験番号

--

問 別紙の敷地図を参照し、設計案を作成せよ。

敷地は墨田川から徒歩数分の住宅街の一角に位置する。周囲には戸建て住宅や小さな店舗が点在する。敷地は交差点の角地である。北側と西側の隣地には二階建ての住宅が建ち、道路を挟んだ東側はコインパーキングとして利用されている。東に徒歩 10 分ほど進んだところには東京スカイツリーがあり、周辺住宅の屋上からは東京スカイツリーを望むことができる。

本課題のテーマは「ペントハウスのある職住一体の家」である。

生活スタイルや働き方が大きく変わってきている今、住まうことと働くことを一緒に考えていくことが重要である。住まうことと、働くことが一体となる空間とはどのようなものであるか。一日の時間の流れや季節の移ろい、家族構成の変化などを考慮し提案を行うこと。また、東京スカイツリーが見える敷地であることを生かし、最上階にはペントハウス（ここでは最上階に配置されたバルコニーを持つ居室と定義する）を配置すること。

家族構成や職業については自ら設定を行うこと。

住居、ワークスペース以外の用途を追加することは自由とする。（住居以外のワークスペースやその他の用途の面積は居住面積以下とすること）

評価基準は、1：コンセプト、2：空間、3：計画の三項目を基準とする。

敷地面積：172 m²

用途地域：近隣商業地域

建蔽率：90%

容積率：300%

防火地域：防火地域

その他地区：第三種高度地区

その他：高さ制限 20m

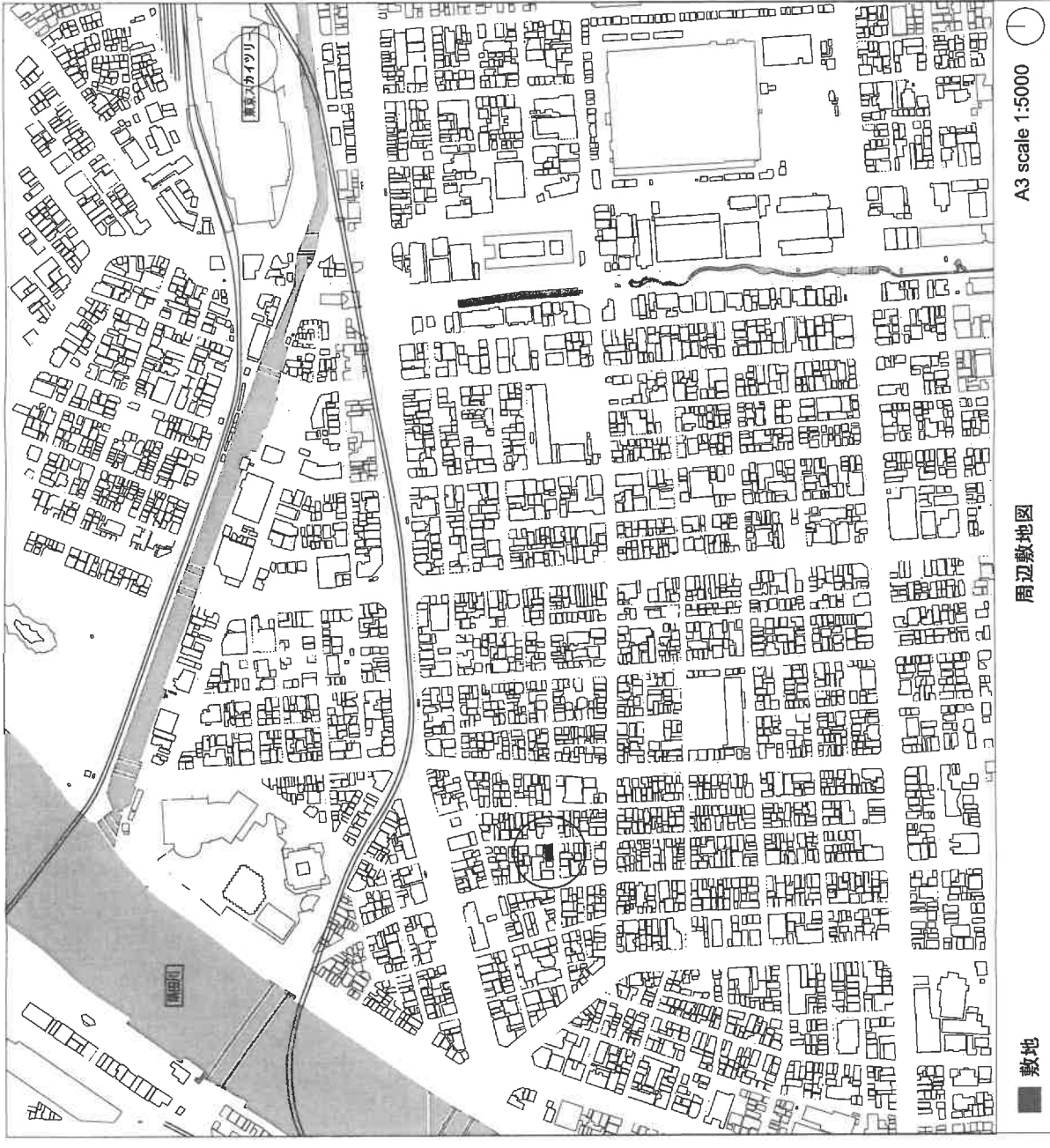
【提出図面】 以下の図面を図面中にレイアウトして表現すること。他の図面を加えてもよい。

- ・配置図（縮尺 1/100）：ただし、1 階平面図で兼ねてもよい。
- ・平面図（縮尺 1/100 または 1/50）：各階平面図
- ・断面図（縮尺 1/100 または 1/50）：1 面以上
- ・イメージスケッチ（縮尺自由）：外観、内観各一枚以上

【その他、注意事項】

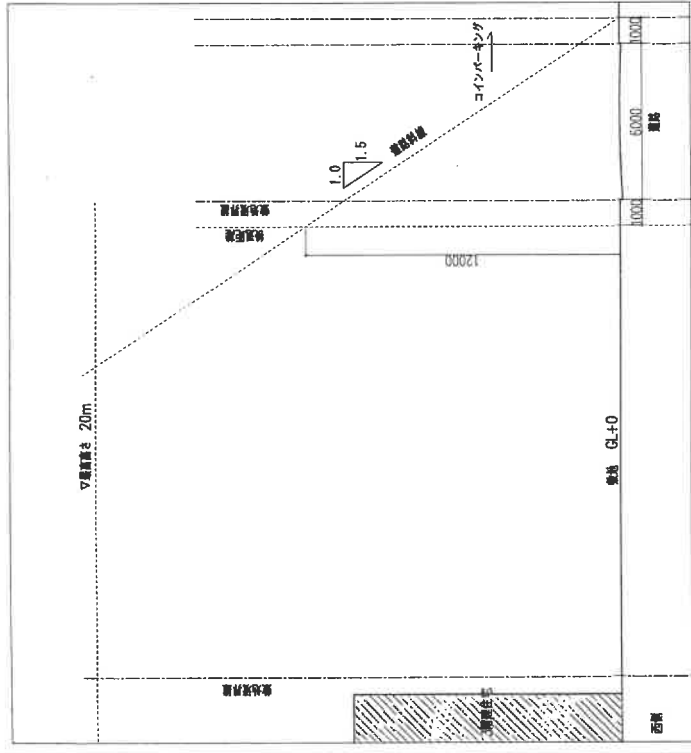
- ・注 1）コンセプト、家族構成、職業、プログラム内容、空間構成ダイアグラムなどを図面に記すこと。

- ・ 注2) 作図はフリーハンドでも可だが、縮尺は守ること。
- ・ 注3) 筆記用具類は色鉛筆など使用自由。着彩可。
- ・ 注4) エスキース用の図面、提出用の図面の両方に受験番号を記すこと。また、2枚とも提出すること。
- ・ 注5) 後退距離ライン、道路斜線、北側斜線より外側に建築を行わないこと。

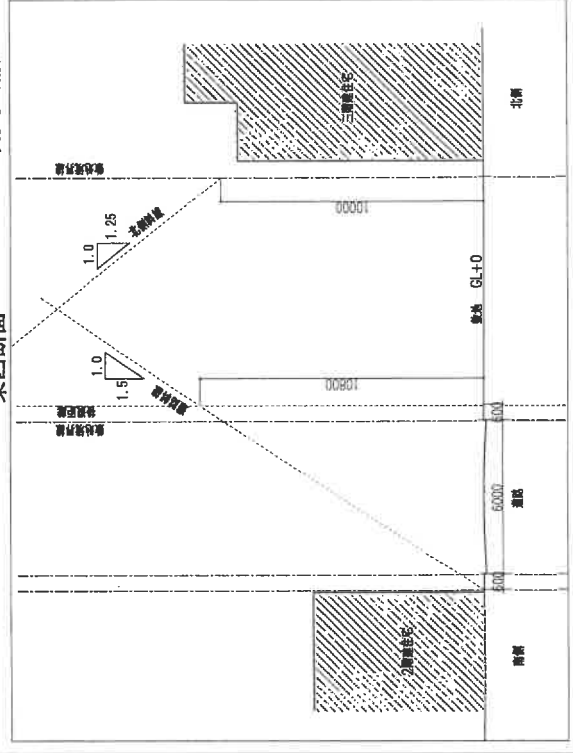


A3 scale 1:5000

周辺敷地図

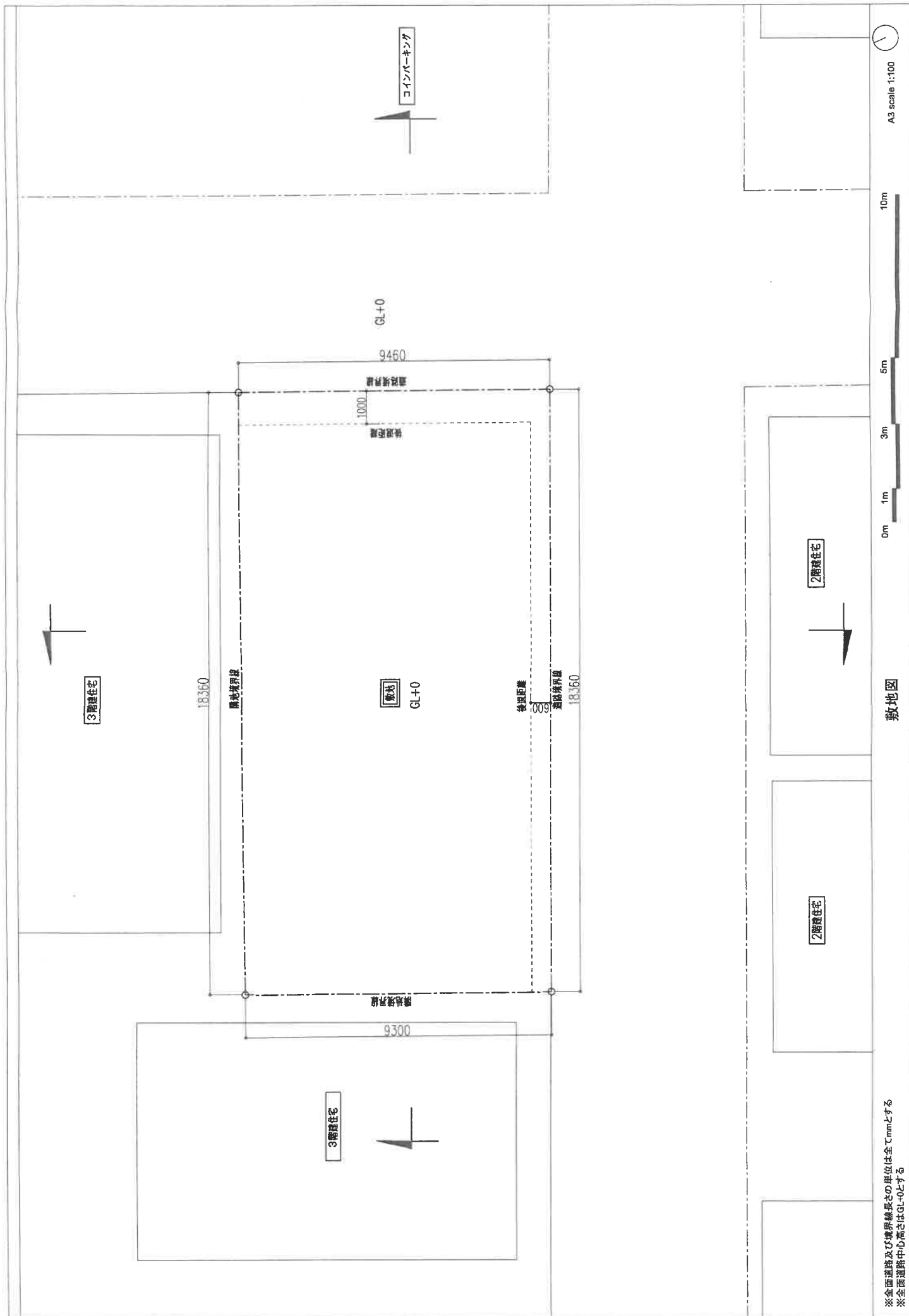


東西断面
A3 S=1:200



南北断面
A3 S=1:200

断面条件・周辺敷地図



※全面道路及び境界線長その単位は全てmmとする
※全面道路中心高さはGL+0とする

敷地図